

校報 すずかけ

豊かな心を持ち、自らを切り拓く子どもの育成

平成20年3月14日(金)【通算 149号】 盛岡市立仙北小学校

特集1 平成19年度「学校運営に関する評価」の考察 について

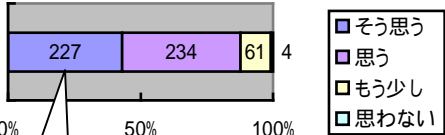
保護者の皆さんから回答いただいた「学校運営に関するアンケート」による本校教育への評価、その評価を元にした「本校の新年度経営方針」、そして地域の代表として仙北小を支えてくださる「教育振興委員会のご意見」。保護者、地域、学校が一体となって、子どものより良い成長を願う仙北小の教育についての19年度の評価と20年度の具体的な運営方針を次ページ以降にまとめました。

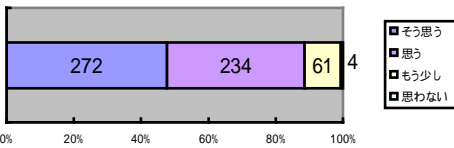
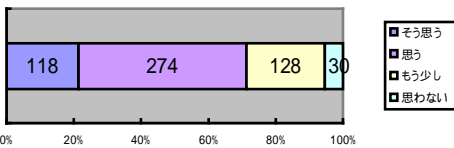
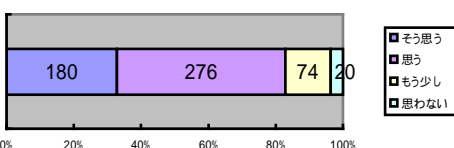
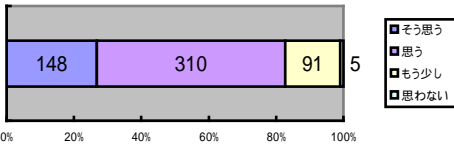
次ページ以降の「学校運営に関する評価」の考察の見方を説明します。

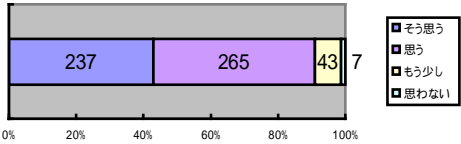
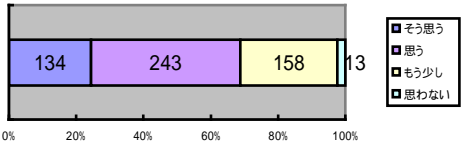
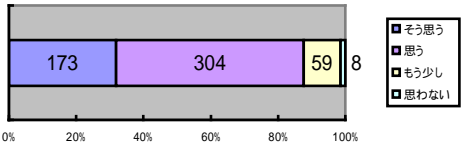
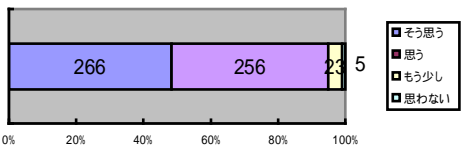
2月7日～13日に保護者から回答いただいた「学校運営に関するアンケート」の集計結果

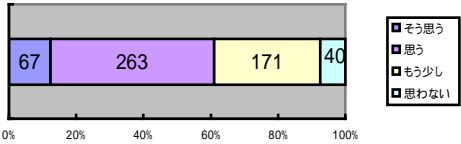
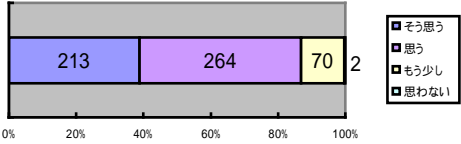
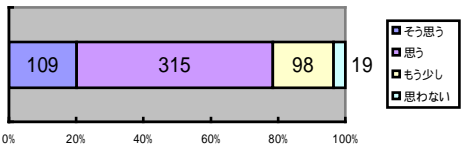
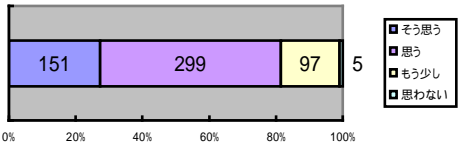
保護者アンケートの結果をもとにした学校の考察

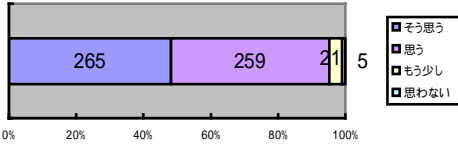
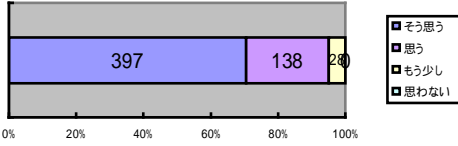
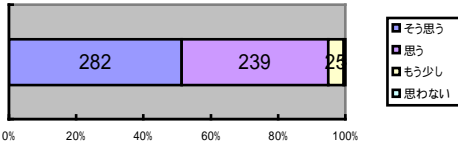
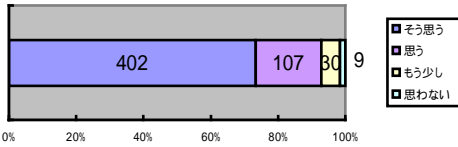
保護者からの評価と学校評価への教育振興委員会の意見

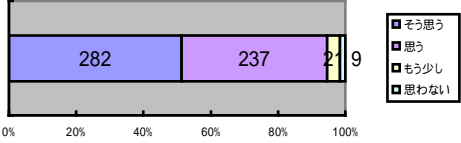
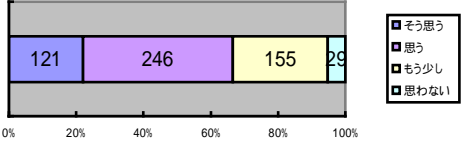
保護者からの評価	学校の考察	教育振興委員会の提言										
<p>【設問1】学校と家庭の情報交流</p> <p>(1) 学校は、学校教育目標・経営方針や子どもの活動の様子ができるように、校報「すずかけ」や学年・学級通信でお知らせするよう努めている。</p>  <table border="1"> <tr> <th>評価</th> <th>人数</th> </tr> <tr> <td>そう思う</td> <td>227</td> </tr> <tr> <td>思う</td> <td>234</td> </tr> <tr> <td>もう少し</td> <td>61</td> </tr> <tr> <td>思わない</td> <td>4</td> </tr> </table> <p>肯定的評価 89%</p> <p>実数で示しています。回答の総数は約95%ですが、項目により回答率は上下しました。</p> <p>4段階評価のうちの「そう思う」「思う」を合わせた肯定的な評価の合計です。</p>	評価	人数	そう思う	227	思う	234	もう少し	61	思わない	4	<p>多くの保護者が、学校から発行される校報や学年・学級通信を保護者評価結果から分かる状況をもとに分析しました。</p> <p>今まで同様に確かな情報をもとに、定期的且つタイムリーに保護者の評価、分析結果から、新年度に教育活動に取り入れたい内容です。</p> <p>積極的に働きかけていきたい。</p>	<p>Q 校報や学年通信は、家庭教育振興委員会の席上出された質問(Q)とその回答(A)です。</p> <p>いることから、十分通信としての役割を果たしていると考えられる。</p> <p>担任の加重負担にならない形で、必要な新年度の学校運営の方針について、教育振興委員会としての提言です。</p>
評価	人数											
そう思う	227											
思う	234											
もう少し	61											
思わない	4											

	保護者からの評価	学校評価	教育振興委員会評価
<p>【設問1】学校と家庭の情報交流</p>	<p>(1) 学校は、学校教育目標・経営方針や子どもの活動の様子がわかるように、校報「すずかけ」や学年・学級通信でお知らせするよう努めている。</p>  <p>肯定的評価 89%</p> <p>(2) 家庭では、子どもさんの家庭での様子の変化など（学校の授業や生活に必要なこと）を学校へ伝えるよう努めている。</p>  <p>肯定的評価 71%</p>	<p>多くの保護者が、学校からの校報や学年・学級通信を通して、学校教育目標・経営方針や子どもの活動の様子について、情報を得ていることがわかる。</p> <p>30%の保護者が学校への子どもの情報の伝達が十分ではないと思っている。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>今まで同様に確かな情報を定期的且つタイムリーに校報や学年通信を通して発信していきたい。保護者からの必要な情報を伝えていただくよう、学校からも電話などで積極的に働きかけていきたい。</p>	<p>Q 校報や学年通信は、家庭で読まれているか</p> <p>A 学校からのお知らせやお願いを発信しているが、かなり徹底されていることから、十分通信としての役割を果たしていると考えられる。</p> <p style="text-align: right;">⇒</p> <p>担任の加重負担にならない形で、必要な家庭事情や子どもの情報について、相互に連絡し合うことが望ましい。</p>
<p>【設問2】子どもに対する指導（意欲）</p>	<p>(1) 学校は、子どもの意欲を引き出すよう、ほめる、しかるなど適切な評価に努めている。</p>  <p>肯定的評価 83%</p> <p>(2) 家庭では、お手伝いや家庭学習への取り組みができるよう、励ましの声掛けなどに努めている。</p>  <p>肯定的評価 83%</p>	<p>学校での、褒める、叱るという人格形成に不可欠な指導によって子どもたちの意欲を引き出そうとしていることへの理解は得られていると言える。</p> <p>家庭でも、励ましながら子どもを伸ばしていこうとする姿勢が顕著に伺われる。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>学校も家庭も子どもの意欲を高めようと互いに努めていることから、今後も「はげましカード」の継続など、学校と家庭の連携を図っていきたい。</p>	<p style="text-align: right;">⇒</p> <p>学校・家庭が一体となって子どものやる気を引き出してほしい。「はげましカード」の取り組みは今後も継続すべきである。</p>

	保護者からの評価	学校評価	教育振興委員会評価
<p>【設問3】子どもに対する指導（学力）</p>	<p>(1) 学校は、漢字・計算など基礎・基本の習得に力を入れるなど、わかる授業に努めている。</p>  <p>肯定的評価 91%</p> <p>(2) 家庭では、家庭学習の時間確保のため、子どものテレビやゲームの時間が適切であるよう努めている。</p>  <p>肯定的評価 69%</p>	<p>学校では、基礎・基本の習得に力を入れ日々の学習を進めていることや、本校のTT・副担任制も学力の向上・維持に有効であることも理解されていることが伺われる。</p> <p>30%の保護者が子どものテレビやゲームの時間がやや不適切であると感じている。高学年になるにつれ、この比率は高くなっている。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>学年が進むと家庭における子どもの指導が難しくなっていることから、学校として子どもの家庭での過ごし方について、テレビやゲームの制限も含め指導をしていきたい。</p>	<p>Q 仙北小の子どもたちの学力はどうか。</p> <p>A 全国学力調査（対象6年生）の結果は、全国・岩手県・盛岡市の平均を、国語・算数とも上回っている状況にある。</p> <p style="text-align: right;">⇒</p> <p>家庭での子どもの過ごし方について必要に応じて学校からの指針や指導があってもよい。</p>
<p>【設問4】子どもに対する指導（規律）</p>	<p>(1) 学校は、子どもに誤った行動があった場合には、厳しく指導するよう努めている。</p>  <p>肯定的評価 88%</p> <p>(2) 家庭では、子どもに善悪の判断などが身につくよう努めている。</p>  <p>肯定的評価 95%</p>	<p>学校での子どもの誤った行動に対する毅然とした指導への姿勢は、保護者の理解も得られている。</p> <p>子どもに善悪の判断を身につけさせたいという保護者の気持ちが十分に表れた結果となっている。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>家庭においては、善悪の判断が身についた子どもに育てようと努めているが、その反面学校は、子どもの誤った行動に対して、今後も愛情を持ちつつも厳しく指導することも考えていきたい。</p>	<p style="text-align: right;">⇒</p> <p>家庭での「善悪の判断」の指導は95%と非常に高く素晴らしい。今後は家庭での「社会性・マナー」などの躰けも高めてほしい。</p>

	保護者からの評価	学校評価	教育振興委員会評価
<p>【設問5】子どもに対する指導（教育相談）</p>	<p>(1) 学校は、子どもが悩みなどを相談できるような雰囲気づくりに努めている。</p>  <p>肯定的評価 61%</p> <p>(2) 家庭では、学校での出来事など子どもの話を聞くよう努めている。</p>  <p>肯定的評価 87%</p>	<p>学校では、日々の担任との触れ合いや悩み相談箱の設置などを通して、子どもの悩みを吸い上げる取り組みに努めているが40%ほどの保護者が悩みを相談できる雰囲気づくりが「もう少し」と感じている。</p> <p>多くの家庭で子どもとの会話を大切にしていることが伺われる。こうした家庭の姿勢から学校と家庭とのより良い連携が築かれていくと思われる。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>学校は、子どもとの定期的な面談をするなど、子どもたちが教師に気軽に相談できる場や雰囲気づくりに、来年度の最大の課題として取り組んでいきたい。</p>	<p>教師と全員の子どもの定期的な面談の導入、校長と子ども（6年生）との面談の導入なども効果的であろう。</p>
<p>【設問6】子どもに対する指導（児童理解）</p>	<p>(1) 学校は、子どもたちの友人関係に配慮するなど、子どもが落ち着いて学校生活を送れるよう努めている。</p>  <p>肯定的評価 78%</p> <p>(2) 家庭では、子どもの様子に目を配り、穏やかな気持ちで登校させるよう努めている。</p>  <p>肯定的評価 82%</p>	<p>集団の中で学校生活を送る子どもたちにとって、友人との関わりは大切なものである。その点にも配慮した指導に努めている。</p> <p>子どもにとって、家庭は心安める第一の場所である。励ましたり、諭したりしながら我が子を温かく見つめるよう努めている家庭が多いことがわかる。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>学校、家庭とも、子どもたちをより安定した状態で生活させようと努めており、今後も学校は、いじめへの対応について、早期に発見し早期に対応して解決していきたい。</p>	<p>Q いじめの実態はどうか。</p> <p>A 今年度の調査では、子どもから110件の訴えがあった。この中には「1回だけ」、「今は無い」というものも多く、また一方的にいじめられるだけでなく、友達との関わりの中での「悪口」や「いじわる」が大半であった。この中で「いじめ」と判断した7件（保護者からの相談の4件を含む）を市教委に報告した。いずれも現在は解決している。</p> <p style="text-align: right;">今後起こることがあると思うが、気づいたらすぐに対応してほしい。</p>

	保護者からの評価	学校評価	教育振興委員会評価
<p>【設問7】 健康安全に関わる指導</p>	<p>(1) 学校は、好き嫌いをなく給食を食べさせるよう指導に努めている。</p>  <p>肯定的評価 95%</p> <p>(2) 家庭では、朝ご飯をきちんと食べさせるよう努めている。</p>  <p>肯定的評価 95%</p>	<p>学校での偏食をなくする指導は家庭にも理解されて進めていることがわかる。</p> <p>朝ご飯をきちんと食べさせて一日のスタートを切らせようとする意識が家庭にも十分に定着していることが数値にも表れている。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>ごく少数であるが朝ご飯をきちんと食べてこない子どもが見られることから、今後は個別に対応するなどしていきたい。</p>	<p>Q 朝ご飯を食べてこない子もいるのか。</p> <p>A 毎日ではないが、しっかり食べることが週の半分であるという子は30人程度いる。</p> <p style="text-align: right;">⇒</p> <p>朝食の習慣を、ぜひ身につけさせてほしい。個別に家庭とも連携し、対応していくべきである。</p>
<p>【設問8】 健康安全に関わる指導</p>	<p>(1) 学校は、子どもの体力づくりに適切に努めている。</p>  <p>肯定的評価 95%</p> <p>(2) 家庭では、歩いて登下校させるよう努めている。</p>  <p>肯定的評価 93%</p>	<p>学年ごとの校内マラソン大会への取り組みや「なかまの日」の設定など、学校の指導に理解を得ていることがわかる。校内マラソン大会には多くの父母の応援があり、子どもたちの励みになっている。</p> <p>特別な場合を除き、子どもを歩いて登下校させている家庭が大半である。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>歩いて通学している子が圧倒的に多い本校の子どもたちは、体位・体力ともにより結果を残しており、学校では今後も校内マラソンなどの取り組みを進めていきたい。</p>	<p>Q 仙北小の子どもたちの体力はどうか。</p> <p>A 体力・運動能力調査では、全国平均よりやや優れている。体位面では、肥満傾向が非常に少ない状況で、軽度中度の肥満を合わせても全体の6%である。歩いて登校する子どもが多いことと関連があると思われる。</p> <p style="text-align: right;">⇒</p> <p>子どもたちを見守ってくれる街の人たちも多い。これからも元気に歩いて登下校してもらいたい。</p> <p>登下校の際、交通指導員やスクールガードの皆さんにもっと挨拶をするようになればよい。</p>

	保護者からの評価	学校評価	教育振興委員会評価
<p>【設問9】 学校と保護者との連携</p>	<p>(1) 学校は、年4回の参観日(3回の懇談会)や年2回の期末面談の機会を設け、保護者の意見を聞くよう努めている。</p>  <p>肯定的評価 95%</p> <p>(2) 家庭では、地区懇談会、研修視察、すずかけ祭り、学年PTA行事、おやじの会などのPTA諸活動への参加に努めている。</p>  <p>肯定的評価 67%</p>	<p>参観日の際の懇談会では学年の経営方針や子どもの学校生活の様子、家庭での生活の様子などを具体的に説明・協議するなど実りある懇談会になるよう進めている。</p> <p>PTA諸活動の実施日時をどのように設定するかこの家庭にとっても都合のいい時間はなかなか見つけられない。それでも多くの会員が活動に参加し、役員を中心にPTA諸活動が円滑に進められている。</p> <p>↓</p> <p>今後もより良い面談・懇談のあり方について、工夫・改善していきたい。</p>	<p>Q 昔から父親の参加が難しいがどうか。</p> <p>A おやじの会の活動もあるが、なかなか参加者は増えていない。</p> <p>→ 父親の参加を促す工夫・方策がほしい。</p> <p>→ 地区懇談会の参加者を増やすため、時期や内容を地区にゆだねることも考えてはどうか。</p> <p>3学期も期末面談を実施し、子どもの学校生活や成長の様子を伝えてはどうか。</p>
<p>【設問10】 (1) お子さんが学校で一番楽しみにしていることは何ですか。</p>	<p>友達と遊んだり話したりすること。 好きな教科を勉強すること。 おいしい給食を食べること。 マーチングや合唱のクラブで活動すること。 先生と勉強したり遊んだりすること。 図書館の本を読むこと。 運動会などの行事に参加すること。 なかよしタイムで上級生と遊ぶこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分のがんばりが認められること。 ・ 朝マラソンをすること。 ・ うんていで遊ぶこと。 	<p>無回答はほとんど無く、多くの保護者が自分の子どもが学校で楽しみにしていることを把握していることが伺える。</p> <p>楽しみの一番は友達との交流であり、さらに好きな教科の学習、給食、先生との触れ合いなどが続く。低学年では、上級生と遊ぶなかよしタイムを、高学年では、課外クラブの活動を楽しみにしていることが伺える。</p> <p>↓</p> <p>友達と遊んだり勉強したりという、学校本来の姿が子どもたちにとっても楽しいものであることが確認できた。子どもの願い、保護者の思いに応えるよう、教育の本質を今後も追求していきたい。</p>	<p>Q 「なかよしタイム」とは、どのような活動か。</p> <p>A 6年と1年、5年と2年、4年と3年の組み合わせで上学年がリードして休み時間に遊ぶ活動である。先日の「6年生を送る会」で、6年生の涙を見て、声を上げて泣きじゃくる1年生の姿があった。別れを悲しむ感動のシーンであった。</p> <p>→ 異学年交流など、小学校6年間の中で学ぶことが出来る活動を、さらに組み込んでほしい。</p>

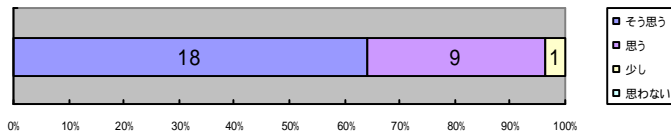
	保護者からの評価	学校評価	教育振興委員会評価
<p>【10】(2) お子さんを仙北に入れてよかったと思うことは何ですか。</p>	<p>子どもが楽しく通学している。 たくさんの友達が出来た。 多くの子どもたちと触れあえる。 先生との信頼関係がある。 先生が学習の定着に努めている。 TTや副担任制・教科担任制など指導法を工夫して指導している。 マーチング・合唱などの課外クラブ 異学年との交流が行われている。 地域と関わる活動が行われている。 地域が子どもを見守ってくれる。 温かくおいしい給食が食べられる。 ・ 具合が悪い時も気遣ってもらえる。 ・ 高学年もまじめに取り組んでいる。 ・ 親が子どもに目をかけている。 ・ 大規模校なのに一人一人の子どもに目をかけている。 ・ 友達を大切にする子に育った。 ・ 子どもたちがピリピリせず伸び伸びと育っている。</p>	<p>子どもが喜んで登校していることを第一に、さらに本校が長年取り入れてきた学習指導法や課外クラブ・地域交流などの活動が保護者にも認められていることが伺える。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>本校が長年培ってきた教育方針と時流に即した指導のあり方を、今後も家庭や地域のご理解ご協力を得ながら進めていきたい。</p>	<p>Q 20年以上も前に始まった教科担任制を今もやっているのか。</p> <p>A 教科担任制だけでなく、TT(ティームティーチング)や副担任制も取り入れ、複数の教師による子どもの良さを引き出す指導を続けている。</p> <p style="text-align: right;">⇒</p> <p>教科担任制などの指導形態やマーチング合唱などの課外クラブの活動といった仙北小の教育が保護者にも地域にも認められている。こうした専門性を生かした指導を、さらに続けていってほしい。</p>
<p>【10】(3) お子さんをさらに成長させるため学校に要望したいことは何ですか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高学年でも30人学級に ・ 全学級に副担任を ・ 土曜日にも学校を ・ 校外学習の機会を多く宿題を多く ・ 社会と接する機会を ・ いろいろな職業を知る機会を ・ 集団下校を ・ 台風や災害時に早めの下校を ・ 子どもの成長と親の成長も指導できる教育相談・家庭相談を ・ 夢を持つきっかけとなる授業を ・ 子どもの悩みを聞く機会を ・ 子どもの気持ちを大切に ・ 居残り学習を ・ 漢字計算大会を ・ スキー学習を ・ マラソンの継続を ・ 定期的な学習進度のお知らせを ・ 忘れ物にもっと注意を ・ 体力向上のため運動にもっと力を ・ 放課後の校庭で遊ばせるよう ・ 3学期も面談を ・ 父母と先生のレクを ・ 親の考えに振り回されず毅然とした態度で ・ あとは家庭の問題 	<p>児童理解の面や社会と関わる活動、安全への配慮などへの要望をいただいた。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>本校の教育活動に反映できるものは真摯に検討していきたい。</p>	<p>Q 修学旅行以外の宿泊体験学習はあるのか。</p> <p>A 5年生では、2泊3日の区界でのグリーンキャンプ(林間学校)、6年生で1泊2日の仙台・松島方面への学習旅行を実施している。今年度の6年生は学年PTA行事として、青年の家で宿泊研修を学級毎に行った。</p> <p style="text-align: right;">⇒</p> <p>指導要領の改訂により、授業時数贈や英語学習の導入が言われる中、今後も保護者や地域との相互連携を図り、教育活動を展開していってほしい。</p>

❁ 特集2 平成19年度「仙北小・学びプランの評価」

これからの項は、本校教員による「仙北小・学びプランの評価」です。家庭にもお願いしているはげましカードの重点12項目について、担任・副担任が自己評価しました。12項目のうち後半4項目は、家庭での取り組み内容ですが、子どもと家庭のはげましカードの評価をもとに判断しています。

学びプラン「学校」の1・2は、 を2分割して項目を設定しています。この印の項目は「はげましカード」に掲げている項目です。		評価結果に基づき、新年度の教育活動に取り入れたい内容です。
学びプラン「学校」	<p>1 地域学習を総合（生活科）の学習の中に位置づけ、地域に住む方々との関わりについて学ぶことを大切にしているか。</p> <p>肯定的評価 73%</p>	<p>今までも地域学習を各学年の発達段階に応じて学習の中に位置づけてきましたが、今後も地域や学習ボランティアの皆さんの協力も得ながら、充実した内容にしていきたい。</p>
	<p>岩手・盛岡の先人について指導しているか。</p> <p>肯定的評価 43%</p>	<p>肯定的評価が最も低い項目である。先人教育の充実盛岡市の教育方針の一つでもあり、総合の学習や読書活動をととして1学級1実践の学校体制として取り組んでいきたい。</p>
	<p>不登校0を目指し子どもの心の理解に努め、心のつまずきへの早期対応をしているか。</p> <p>肯定的評価 100%</p>	<p>今年度も不登校（年間欠席30日以上）児童は「0」であった。不登校など子どもの心の面でのつまずきの解決には、早期の対応が不可欠である。今後も家庭と連携して早期解決に努めたい。</p>
	<p>学級の所属間や連帯感を育てるため、なかまの日を設定し、教師と子どもたちとの触れあう時間を大切にしているか。</p> <p>肯定的評価 86%</p>	<p>子どもの心の理解のためにも教師と子どもが触れあう時間や活動は重要であり、教育相談の機会の設定も含め、これまで以上に充実した時間になるよう大切にしていきたい。</p>
<p>2 読む・書く活動を位置づけた国語の授業を日常的に行っているか。</p> <p>肯定的評価 93%</p>	<p>読み書きは国語に限らず全ての学習の基本とも言える領域である。これまでも続けてきたように、国語の授業研究も積み重ねていきたい。</p>	

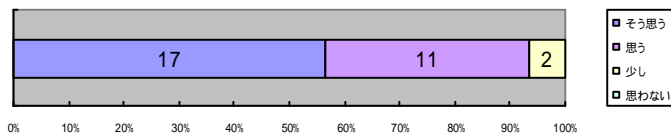
漢字の確実な習得のためマスターテストを行い、全ての子どもが学年必須の漢字を習得するよう努めたか。



肯定的評価 96%

学年に応じて取り組みを進め、9割以上の習得ができた子の割合が91%に達した。目標に向かって学習すること、それを達成する喜びを味わうことなどを通して、今後も子どもたちが意欲をもって取り組むよう努めていきたい。

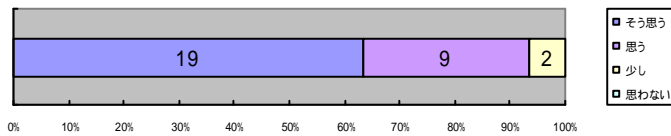
算数で一人一人の考える力を伸ばすために指導の工夫に努めたか。



肯定的評価 93%

TTや少人数指導などの指導形態の工夫の他、問題の提示や発問の仕方、個に応じた課題追求、楽しく学ぶ雰囲気作りなど、授業全般にわたり工夫・改善に努めており、今後も継続したい。

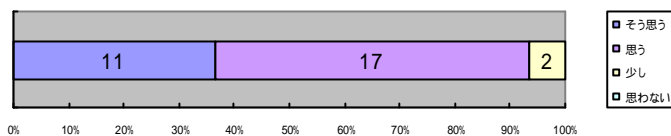
基礎的な計算技能の確実な定着のためマスターテストを行い、全ての子どもが学年必須の計算を習得するよう努めたか。



肯定的評価 93%

今年度は半年間の取り組みであったが、家庭の協力もあり子どもたちも意欲的に取り組んだ。9割以上の習得児童の割合は全校で90%であった。新年度は1年間を通してさらに確実な習得を図っていきたい。

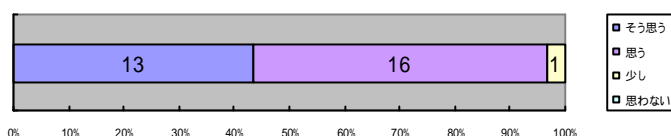
3 5A(あいさつ、歩き方、後始末、合図、集まり)などの基本的な生活習慣を身につけられるよう指導したか。



肯定的評価 93%

日常の様々な活動場面で継続的に指導していくことが習慣化につながる。家庭や地域が一体となってあいさつ運動に取り組むとともに、校内での歩き方も重点として指導していきたい。

朝の10分間読書の充実に努めたか。



肯定的評価 97%

教師も率先して朝読書を行うとともに、伝記を読む月間の設定など、先人教育・キャリア教育の一端としての読書にも取り組んでいきたい。

	<p>4 マラソン大会など持久力や根気強さを伸ばす運動を積極的に取り入れたか。</p> <p>肯定的評価 97%</p>	<p>学級対抗のマラソン大会として競い合いながらも互いに励まし合って取り組んできた。運動を苦手と感じている子にも配慮し、短縄・長縄びにも継続して取り組んでいきたい。</p>
	<p>残食0の日を決め、食べ残しを少なくするよう給食指導をしたか。</p> <p>肯定的評価 90%</p>	<p>残食が少なくなってきている。バランスよく食べること、朝昼晩の3食が大切なことなど、食の教育としての給食指導を今後も進めていきたい。</p>
<p>学びプラン「家庭」</p>	<p>1 学校での出来事、がんばっていることなど、子どもの話を聞くよう努めているか。</p> <p>肯定的評価 97%</p>	<p>家庭での取り組みとしてお願いした4つの項目とも、はげましカードの家庭での評価も高く、担任もまた、その効果を実感しています。学校と家庭が連携して、子どもの確かな成長を目指して取り組んでいく内容を具体的に示したこの「仙北小・学びプラン」はげましカードを来年度も継続して参ります。</p>
	<p>2 家庭学習を10分×学年を目安に学習させるよう努めているか。</p> <p>肯定的評価 97%</p>	
	<p>3 おはようございますなどの挨拶がきちんと出来るよう声掛けに努めているか。</p> <p>肯定的評価 100%</p>	
	<p>4 朝ご飯をしっかり食べさせるよう努めているか。</p> <p>肯定的評価 93%</p>	